

平成 23 年 11 月 1 日

東京都市大学付属各校の放射線量等の測定結果について

3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う津波により事故が発生した福島第一原子力発電所からの放射性物質の拡散に対し、東京都が実施している測定値を補完するため、五島育英会では東京都市大学原子力研究所に依頼し、7月2日（土）にグループ内の高等学校以下各校において放射線量等の測定を実施いたしました。

続いて10月15日（土）に、2回目の測定を実施し、前回測定から約3ヶ月後の放射線量等の数値の変動を確認いたしました。

放射線量の数値は、前回の測定結果に比較し全体的に減少傾向にあり、自然放射線量の変動範囲内でした。水道水で検出された放射能も同様に特別なものは検出されませんでした。土壌の放射能分析結果からは、前回に続き福島第一原子力発電所の事故に由来する放射能がごく微量検出されましたが、放射線量への影響は上記の通りで、多くは元々自然界に存在する放射線量の変動範囲内でした。なお、雨水等の集まる側溝や雨樋の排水口では、一部で若干の数値の上昇が見られましたが、学校生活に影響を与えるような数値ではないことが確認されました。

因みに、福島第一原子力発電所の事故以前での自然界（宇宙線および大地放射線）からの放射線の被ばく量は、全国平均で0.07 μ Sv/hという数値となっています。

本法人では第2回目の放射線量の測定結果からも、グループ内の各校におきましては通常の教育活動の実施に問題はないと判断し、安心して学校生活を送ることが出来る環境にあることをここにご報告いたします。

今後も細心の注意を払いながら東京都市大学原子力研究所の協力のもとに、放射線量等の状況変化を見守ってまいります。

実施年月日	平成 23 年 7 月 2 日（土）、平成 23 年 10 月 15 日（土）	
測定器	放射線量率測定	NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ TCS-171B（アロカ社製） 測定器 S/N：R08106 校正年月日：2011 年 9 月 13 日
	土壌及び水道水の放射能濃度測定	ゲルマニウム半導体検出器（GEM-20190） 検出器 S/N：26-P1742B

東京都市大学総合グラウンドの測定結果

住所	世田谷区鎌田 1-16-1
----	---------------

(1)放射線量率測定

測定日時			平成23年7月2日9時50分～10時35分			平成23年10月15日12時15分～12時30分		
測定場所	表面	放射線量率 (μSv/h)			放射線量率 (μSv/h)			
		5cm(表面)	50cm	100cm	5cm(表面)	50cm	100cm	
野球場 入口付近	花壇	土	0.06					
	地面	土	0.09					
	木の葉		0.09					
	木の下	土	0.08					
	生垣(高い木)の下	土				0.07	0.08	0.08
	生垣(低い木)の下	湿った土	0.12			0.12	0.10	
野球場	側溝の上	金属	0.09					
	ピッチャーマウンド	土	0.07	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05
	ベンチ 床	コンクリート上に茶色い細かい土	0.08	0.07	0.08			
	ベンチの手洗い場中央	コンクリート上に土	0.08					
	ネット付近(左側)		0.08					
	2 塁付近	草	0.06					
	側溝の中	湿った土	0.10			0.13		
多目的グラウンド 中央	人工芝+砂	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.09	
テニスコート 中央	人工芝+砂	0.12	0.10	0.09	0.10	0.10	0.09	
ラウンジのテーブルの上		0.06			0.06			

(2)土壌及び水道水の放射能濃度測定

項目	測定場所	採取箇所	7月2日測定結果		10月15日測定結果	
			採取量	放射線量率 (μSv/h)	採取量	放射線量率 (μSv/h)
土壌	野球場 側溝付近	地表面	約88 g	0.09	約93 g	0.08
		地表下0~5cm	約86 g	0.08	約77 g	0.07
水道水	ラウンジ横の外の水道		500ml	不検出	500ml	不検出